

授業の名称	共生社会をめざして ユニバーサルデザインから考える		
授業の実施予定	総授業時間	1 回授業時間	
	4 時間 + 2 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・基本 100 分（2 時間続き） 1 時間ごとの実施可能 ・プラス 2 時間の授業は、実施内容の説明のみ オプション授業はフィールドワークになるため、夏季・冬季休暇の課題とする 	
授業の主題と 生徒の到達目標	主題	<p>共生社会が実現するためには、さまざまな体験学習を通して、自分も「多様な人々」の一人なのだと自覚することが必要です。当事者意識が持てる高校生をめざします。</p> <p>さらに、自らの生活環境に目を向け、UD に敏感になることで、より広い視野を持ち、主体的で自立した生活者・消費者となれる高校生をめざします。</p>	
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分たちの生活のなかに、さまざまな UD 製品がある事に気づく 2. UD 研究者の取り組みや企業開発の実態に触れる 3. さまざまな多様性体験と、その後の意見交流を通して、「多様な人」の捉え方を深める 4. UD に敏感になることで、消費生活に当事者意識を持ち、主体的に生活に関わることができるようになる 5. UD の意識化が、生活者と行政や企業等との関係を考えるきっかけになり、社会へのアピール力を高める原動力になることを理解する 6. よりよい製品づくりには消費者と生産者のコミュニケーションが必要であり、高校生のなかには将来どちらの立場にもなる人がいることを理解する 7. 自分なりに UD 製品を提案できるようになる 	
授業前の心構え	2 人あるいはグループ単位で取り組む体験学習が中心となります。さらに、体験後はクラスで意見交流をしながら UD 理解を深めていくため、主体性（積極性）と協調性が求められます。		
授業明細	時間	内容	授業の方法
	1	ユニバーサルデザインって何？	体験学習 講義
	2		
	3	多様性について考えよう	体験学習
	4	共生社会の実現に向けて 気づきを社会へ	講義
	5	公共空間をウォッチングしてみよう	フィールド ワーク説明
6	オリジナル企画をプレゼンしてみよう	UD 製品企画 説明	
評価の方法	<p>標準授業（4 時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想・考察プリント 70% ・レポート 30% <p>レポートの体裁と提出期限は授業の際に指示します。</p>		

（著作： 2011.12.11. 東京学芸大学非常勤講師 富田道子）